（別紙様式）　　（Ａ３判横）

平成３０年度　学校自己評価システムシート（県立いずみ高等学校）

Ｓ２９

目指す学校像	地球環境のよき理解者としての、グローバルな視点をもった、品格あるスペシャリストを育成する学び舎

重点目標	１　普通・専門教科それぞれの授業の質を高める（学力向上）とともに、キャリア教育を充実させ、将来にわたって学び続ける意欲をもった生徒を育てる。 ２　「時を守り、場を清め、礼を尽くす」を実践し、プロフェッショナル人として、規範意識を高めるとともに、他人を思いやる心等、豊かな心を育成する。 ３　教育内容や特色・強みを地域社会に発信し、地域との協働による開かれた学校づくり・教育活動を推進する。

※　重点目標は３つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。
※　番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度		
	A	ほぼ達成（８割以上）
	B	概ね達成（６割以上）
	C	変化の兆し（４割以上）
	D	不十分（４割未満）

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者　学校関係者　３名
　　生徒　８名
　　事務局（教職員）　１３名

学校自己評価

年度目標

番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	年度評価（１月１８日現在） 評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	本校の生徒は学力や学習意欲に大きな個人差があり、進路も多様である。 生徒一人一人の進路希望を実現させ、志の高い、将来にわたって学び続ける生徒を育成するために、６学科の特色を生かした優れた取組を組織的に行う必要がある。	○志の高い、将来にわたって学び続ける生徒の育成に組織的に取り組む。	①将来のプロフェッショナルとして学び続ける生徒を育成するために学習時間を確保する。 ②学科を超え、全職員が協働して各種資格を取得させ、学習意欲を向上させる。 ③組織的にキャリア教育を行い、生徒一人一人が目的意識を持ち努力する指導に取り組む。	①授業以外での学習時間０時間の生徒を減少させ、２時間以上の生徒を10%以上にできたか ＊ ②各種資格取得に向け意欲的に取り組む生徒の割合が80%以上 ＊ ③各学年・各学科が連携して指導した結果、目標を持って努力している生徒の割合が増加したか ＊	志高く学び続ける生徒の育成は、少しずつできている。 ①学習時間 0 時間の生徒の割合は5%減少し２時間以上は 4%増えた。毎日勉強する生徒の割合は昨年度10%から 22%に増えた。 ②88%の生徒が意欲的に資格取得に取り組んだ。 ③87%の生徒が積極的に進路実現に向けて取り組んだ。	A	課題 ・生徒の授業への満足度や理解度が昨年度より減少している。 ・将来のプロフェッショナルとして資格取得を始め、専門教育を身に付けた生徒の育成に取り組む。 改善策 ○授業改善に組織的に取り組み、主体的に学び続ける態度を育成する必要がある。 ○新学習指導要領の導入を踏まえ、「科目選択ガイドライン」の作成等、進路志望を実現しやすい教育課程を構築していく。
		○学びの改革を推進するために、教職員の授業改善に取り組み教職員の学び合いを促進する。	①生徒の学力向上と進路実現に対応するため、６学科の枠を超えた職員研修会を実施し、教職員一人一人の授業の質を高める。 ②授業互見をとおして、教職員の学び合いを促進し、授業改善に取り組む。	①「主体的・対話的で深い学び」の実践をとおして、生徒の意欲を向上させたか。 ②授業に満足している生徒の割合が 80%以上 ＊ ＊学校評価アンケートによる	教職員の学び合いを進めている。 ①授業の質を高める研修会や学びの改革に対応する研修会を計４回開催し、教職員の専門性向上に取り組んだ。 ②授業満足度の割合は昨年度 85%から 68%に減少した。	B	
2	継続的な生徒指導により、生徒は落ち着いている。 自律心を育むため、「時を守り、場を清め、礼を尽くす」指導を引き続き行う必要がある。	○啓発を中心とした積極的生徒指導の実践により、生徒の自律心を育成する。	遅刻指導・身だしなみ指導、挨拶励行の指導に重点を置き、生徒指導部と学年、学科が連携し、継続した指導を行う。	①各学年と生徒指導部が連携し、継続的に遅刻度数を半減（前年比）させる指導ができたか。 ②生徒会によるあいさつ運動を始めとして、生徒が積極的に挨拶をするようになったか。	積極的生徒指導を実践できた。 ①「時を守り、礼を尽くす」の啓発指導により、遅刻者が半減し、88%の生徒が身だしなみを整えていると自覚している。 ②全教職員による立哨指導等により挨拶する生徒も増えている。	A	課題 ・「時を守り、場を清め、礼を尽くす」指導を徹底するために、全教職員が一体となった指導を行う必要がある。 改善策 ○全教職員で身だしなみ指導に取り組み、基本的生活習慣を確立させる。 ○学校外の生徒の活躍の場を増やし、社会性を身に付けた生徒を育成する。
		○生徒のグローバルな視点と社会性、主体性を育成するため、生徒が活躍できる場をつくる。	学校行事や部活動、生徒会、各種事業、学校評価懇話会等への参加をとおして、生徒一人一人が活躍できる場をつくり、社会性と主体性を身に付けさせる指導を行う。	①学校行事や部活動、生徒会活動各種事業に意欲的に参加し、活躍する生徒が増えたか ＊ ②各種行事や生徒会等への参加をとおして、社会性が身に付いた生徒が増えたか ＊ ＊学校評価アンケートによる	継続的に生徒の活躍の場を設定することができた。 ①②学校行事や各種事業に加え、「ネット利用ルールづくり」や「海外研修」への参加をとおして活躍する生徒が増え、主体性を身に付ける機会も多くなっている。	A	
3	学校説明会や授業公開、学校ＨＰの更新を行い、本校の特色ある教育活動を積極的に発信している。 保護者や地域、卒業生、中学生の期待と信頼に応えるため、魅力ある教育活動の状況を発信していく必要がある。	○学校の強みや本校の特色ある教育活動をあらゆる機会を活用して広報する。	①ＨＰを充実させ本校の特色ある教育活動を積極的に発信する。 ②各種メディアを活用して、本校の教育活動を発信する。	①ＨＰの更新回数を昨年度よりも多い３００回以上行う。 ②各種発信媒体を活用し、魅力ある教育活動を広報できたか（前年比）。	特色ある教育活動を積極的に広報する活動を充実する。 ①ＨＰの更新回数は３００回以上となる見通しである。 ②県政広報テレビや新聞等の発信媒体を活用し教育活動を広報した	A	課題 ・本校の特色ある教育活動を広報するために各種発信媒体をより一層活用する必要がある。 改善策 ○教職員による出前授業や中学校訪問、公開講座等を充実させる。 ○ＨＰの内容を充実させる。 ○保護者や地域と連携した広報及び広聴活動を研究する。
		○保護者や県民のニーズを把握し期待に応えるため、積極的に広聴に取り組む。	①学校説明会や中学校訪問を活用して、中学生やその保護者に本校の教育活動を積極的にＰＲする。 ②Netcommons の投票機能を活用する等、対話型の情報提供を進める。	①充実した学校説明会ができたか。また、参加者が昨年より増加したか（前年比）。 ②中学生や保護者、地域との対話型の情報提供を組織的に推進することができたか。	保護者・地域の声を学校運営に生かすべく取り組んでいる。 ①学校説明会等でアンケート調査を実施する等、情報の収集に取り組んだが、参加者は減少した。 ②ＨＰの投票機能による広聴活動を学校運営に生かしている。	B	

学校関係者評価

実施日　平成３１年２月７日

学校関係者からの意見・要望・評価等
・資格取得や進路実現に向けての取組について 進路指導室の活用はもちろんのことだが、送られてくる求人票だけでなく、ウェブ公開しているものも活用している。また、本校の教育課程では例えば生物系所属の生徒も環境系の授業を選択できることが進路実現に役立っている。 ・朝勉強では生徒が自学自習や教え合いにより資格取得や学力向上に成果をあげている。放課後等も校内で勉強できるスペースがあるとよい ・授業満足度が下がっているのはなぜだろう？ 教員が一方的に話すだけの従来型の授業は飽きる。教員と生徒の間でキャッチボールのある授業をしてほしい。グループワークを取り入れるなどして生徒間で話し合う時間を作ったり、教え合うなど生徒が主体的に参加できる授業は満足度が高い。教員も研修会等で授業力向上に取り組んでいるが更に「主体的・対話的で深い学び」を推進してほしい。
・「時を守り、場を清め、礼を尽くす」というスローガンは短く明確で生徒にも自然に浸透し、見事に達成されつつある。遅刻が半減したのは素晴らしい。ぜひ、スローガンどおり指導を継続してほしい。 ・生徒会が朝の挨拶運動、「ネット利用ルールづくり」、他にもいずみ２０周年を記念して自分たちで考えて様々なことに取り組んできたことも評価したい。 ・海外研修はグローバルな視点を持った人材育成を謳う本校の伸びしろだと思う。ぜひ、継続してほしいし、参加した生徒はその成果を広め、核となる人材になってほしい。
・学校 HP が非常に充実してきた。校長が広報トップの役割を果たしている。中学生や保護者、地域の方々など多くの方が関心を持っている。修学旅行、海外研修等学校行事の記事には反応も大きい。 ・在校生は HP をよく見ているだろうか。 部活動については更新されていない部があり残念だ。教員の思いを載せたり、リレー執筆などもいいのでは。 ・正門前（東農場）のミニ庭園は近隣住民にも評判がよい。 ・本校の専門的な学習や施設・設備に保護者ももっと興味を持ってほしい。

（別紙様式）

（Ａ３判横）